

06

山形県

「地域農業の振興に向けて」

JA出資型農業法人による農業経営と
担い手創出に向けた取り組み

J A やまがた

古内 拓己

<ふるうち たくみ>

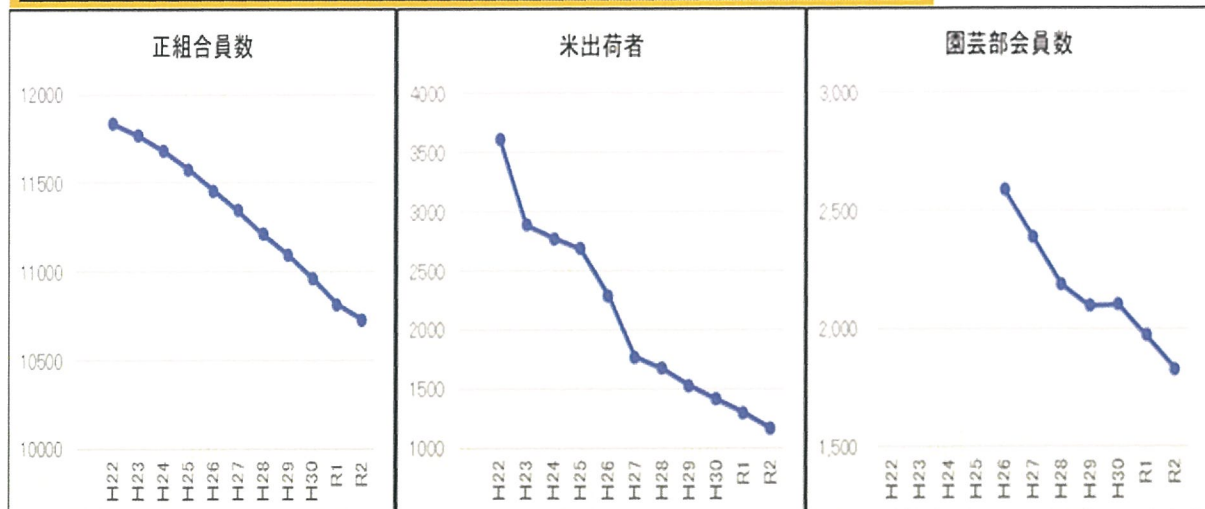
【地域農業の振興に向けて】

JA出資型農業法人による農業経営と
担い手創出に向けた取り組み

山形農業協同組合
営農経済部営農米穀課
古内 拓己

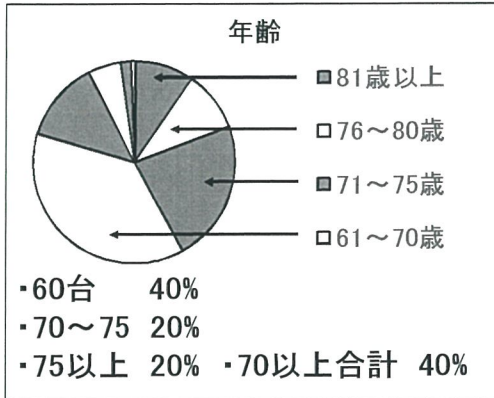
1

【JAやまがた 過去10年(2010～2020年)の推移】

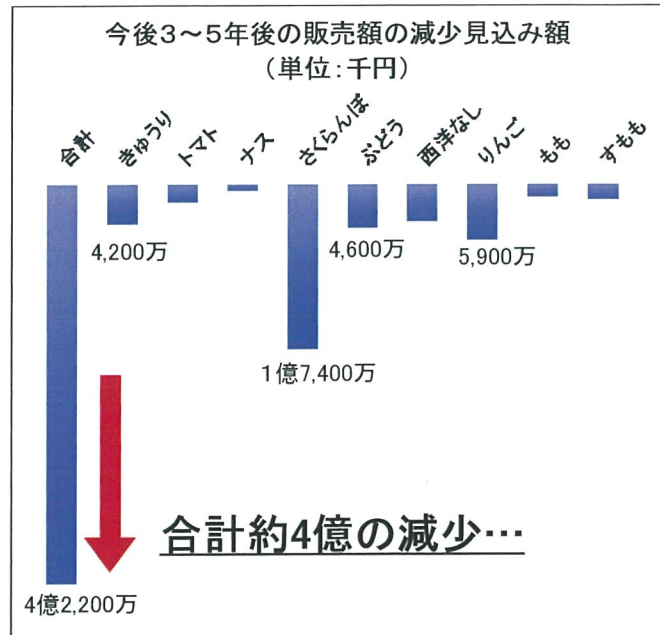


2

【農業経営意向調査の結果】



後継者の有無
 有:23.6% 無:76.4%



【SWOT分析:JAやまがた営農経済事業を取り巻く環境分析】

	好影響	悪影響
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> 直売所売り上げ増加 園芸大規模団地の完成 多様な農畜産物の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 正組合員の減少 生産農家の減少 販売高(収益)の減少 新たな(多様な)担い手の確保 主要基幹施設の老朽化と存続危機 ※共乾施設
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> 担い手農家の大規模化 新規就農者の定着 スマート農業の進展 食料安全保障への関心の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害による農作物被害 有害鳥獣被害による生産面積の減少 物価高騰(生産資材高騰) 農業政策による経営継続困難リスク 競合他社との競争 農地の面的集積の停滞 (人・農地プラン実質化への課題)

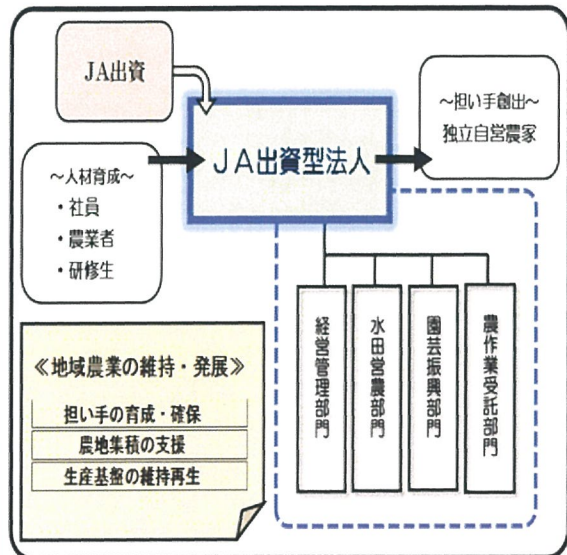
【取り組みの概要と具体策】

1. 新たな担い手の創出
2. JAやまがた園芸大規模団地を
起点にした園芸品目の振興
3. 穀物共同乾燥調製施設の再編整備



【JA出資型(主導型)農業法人の設立】

事業区分	区分・品目	目的
農業経営事業	JAブランド品目 【 野菜・果樹 】 施設園芸 + 露地	園芸の主要ブランド品目の生産集荷の拡大 新たな担い手の創出
新規就農支援事業		
農作業受託事業	共同乾燥調製 施設管理運営	収益面での核 水田営農の受け皿となる足がかり



5

【事業経営の見通し】

▼営農計画シミュレーションの概要（抜粋）

粗収益	46,060千円
変動費	24,584千円
比例利益	21,475千円
減価償却費等	3,120千円
借地料	622千円
常時雇用労働費	9,000千円
臨時雇用労働費	2,779千円
農業所得	5,953千円



▼共乾施設再編整備規模

米		そば	
取扱量	3,000.0t	取扱量	160.0t
受益面積	530.0ha	受益面積	350.0ha
大豆		小麦	
取扱量	750.0t	取扱量	100.0t
受益面積	370.0ha	受益面積	40.0ha

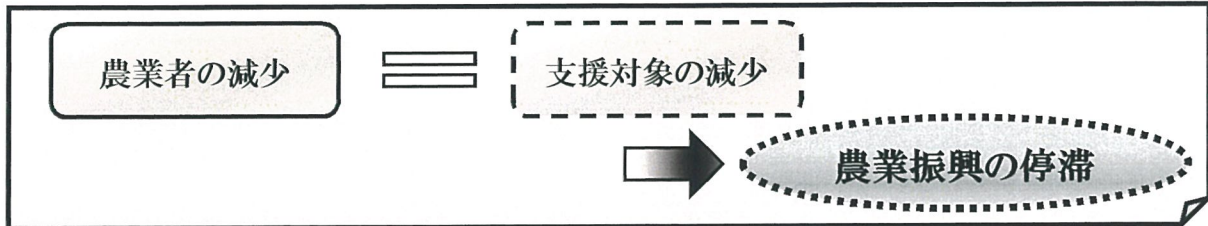
▼収支の見込み

利用料	米	8,000 ～ 8,500万円
	雑穀	3,000 ～ 3,500万円
計		11,000 ～ 12,000万円
施設運営費		7,000 ～ 7,500万円
差引収益		4,000 ～ 4,500万円

6

【おわりに】

JAの役割 / 農業者の後方支援



JAが主体的に生産振興を図る取り組み
【JA出資型(主導型)農業法人】

地域農業の振興